



ロースバーク
日 本 人
収 容 所
知 事 局
九 月 二 四 日
木 曜 日
行 日
カ ー 二 八 号

聯合軍攻勢に出か

英國は佛国民に警告し
独逸軍はス市完占せむ

倫敦 二十三日 A.P. 所報如次

英國政府は佛国民に告ぐとして
放送して曰く聯合國はヒトラー統
治の獨逸國殲滅を期するが故
に時に應じて隨所に攻勢力を取
可く從つて非戦闘員之犠牲を
可く減らす一一般に警告を出す
所以である。佛國民の協力を保
せ希望するが故に再度一般に特
るを報道す。其も萬一の準備を
め備へよ。この警告は佛語を
又倫敦 L.P. は昨日午後五時
カスカル首領は英軍の手に落ちた
運にモスカウ L.P. 所報はス

スラド防戦中の赤軍行動は獨
逸軍の攻勢を阻止したと言ひ
モルはカオルが河上の赤露海軍
が砲艦を以て獨逸軍の側面を強
攻して功を奏した為めであると言
明した。過去四日間於てこの防戦
の爲め獨逸軍は六千人の戦死者を
知し他の戦區にも多数の死傷
者を加へた。赤軍は四十二台の
タンクを捕獲した。

ワルキー親書手交
スターリンと二時間會見

(モスカウ二十三日 A.P. 登)

大統領親書はワルキーが本日
スターリンと二時間會見に先立ち
手交されしがモロトフ外相も出席
した。平直なる意見交換が行
はれたらしくワルキーは次の如
く語つた。
スターリン首相は直言を悦ぶ
人と承つてゐるが私も平直な
方が好きだ。
ワルキーはモスカウから外交と
論み次第支那方面の答である

日本人五百名

エルパソ經由東行

廿二日のエルパソ、ホスト紙に
は五百名の日本人を乗せたる
東行きの列車が廿日の午後四
時半にエルパソ停車場に着し
一時間後に出發したが其到着
と同時に米國軍人を乗せたる西
行き列車が之と並んで停車した
其時日交は軍人を激勵し歓迎
する聲を起し示し軍人も好感を
示して答へた。又同時にピックス
行場から爆撃機が頭上近く
飛んで来たが日本人は之にも敏
喝采を送つた。附添の某軍
大尉は曰く日本人の多くは米國生
で米國に忠誠する如くに見え
列車には老若男女打混り
一車に十八人づつ、合乗し車
への指道者あり、フルーの晩音
あつてゐる一行中日本人を
妻とせる一米國人も居る。近頃生

ルバベロー九名あるが列車には
病院車あり之に收容してゐる。

敵国外人一万人

紐育二十日発 (INS) パルバー
ハ以来危険有る敵国外人として
F.B.I. と之に協力せる法律執
行官とて拘引せる者一万人に
上るとフーヴァー F.B.I. 長官
は語つた。

即吟 ビーア

一と瓶のビーアで天下の心を驚かす
ビーア飲を三エース段落候きル 是色
ビアチア有水とキキホ空なり 風人
石を擲つて各本向はよ氣嫌 筑波
ビア飲を急に浮せせしかり 西夜

知事局より

本日のゲート南 今朝のゲート開きは
朝は昨日の通り午前八時から十時まで
又午後は六時から九時四十五分まで

○祭場変更 昨紙所報の秋季祖先
靈祭場は第十中隊食堂の答であ
つたが都合により第十中隊食
堂に変更した。



捕虜待遇是非

日本放送日前米國
大使の宣傳を反駁

華府廿三日 (AP) 本日戰報事務所

甘田く日本に於て捕虜の待遇
と粗末にすることに關して米人が啓
示したる爲に東京ラテオは之
を反駁する宣傳を企てた

合衆國交通委員會が日本語
の放送を左の如く記録したと戰
報事務所は曰へり即 前米國大使
セヨセフ、シールは日本當局者
の米國インダニーの待遇に關して全く
事實無根の事を全世界に宣傳
し撒き散らしてゐるが斯の如きはハ
ルバーバ以来米國內の日本人の待遇は
人道的であると米國の自称するに對し
る汚辱を歴史に刻すものである云々

○退院者 病院より
足田次郎 (滋賀)

布哇便り

▲珈琲摘みに二百人

布哇島コナ地方では珈琲採集
期節を控えて勢力不足に悩
んでゐた所今回開散期中国防
工事へ轉じた青年達二百名が
国防工事の凍結より解除され
幾分か之を緩和する事となつた
旨布哇大學農事校外部北コナ
郡代理人ジエー金城氏は報じて
ゐる

▲教師の賜暇許可

縣下教師の不足緩和の手段として
教育委員會は八月三十一日協議
の結果、普通は今後賜暇を許可
しなす事に決定した。又戰時中は
教師を其職業に凍結させて置
く事も可決した。教員他の職業
を承る場合合辞表提出の事、又産婦
休暇も短縮する事に決定。尚、中
大陸に渡つた教師中、返却の暇
を獲得し得ず居ると

▲土屋精一氏

布哇商業時報社の土屋精一氏、アキノ

夫人は永らく病氣養療中であつ
たが八月二十七日午前四時クアキニ
病院で永眠した由

▲赤十字代表者

國際赤十字團の代表者は、又、領
事(布哇に於ける日本人監禁者の
生活状態調査の爲の来布した



英語だより (23)

(1) You must be busy, as usual, after arriving at the Relocation Center. (2) Season is now changing and as you are not get used to the climate there, take good care of yourselves. (3) Tell the children not to neglect their studies. School will start soon. (4) Don't let them fall into bad company. Always be very careful. (5) I have been worrying about this all the time since I left home.

着いてから又例の如く忙しく立ち働いてゐる事と思ふ。今、氣候の変わり目だし、風土にも馴れなから、皆身体をよく気をつけなさい。(三) 子供も學校が始まるからよく勉強するやうに。(四) 悪い友達の感化など、又けないやう、イットモよく注意ありたい。(五) 気がかるのは、この事だ。

十三天隊人名録

第十三中隊 第五察

- 和歌山縣 寺岡勝太郎 森内森太郎
- 土山勘次郎 筒井五郎
- 浦野 一 上田長三郎
- 脇田政吉 山下三助
- 米元常楠 吉田房次郎
- 藪本貞彦
- 廣島縣 谷口良人 谷川玉藏
- 植田政人 山下喜平
- 吉田芳穂
- 靜岡縣 鳥澤林藏 渡邊源次郎
- 山口佐十郎
- 熊本縣 吉田清次 堤田豊代松
- 福岡縣 山住政記
- 福岡縣 田中邦彦 鶴田勝治
- 福岡縣 田中政吉
- 福岡縣 矢吹照松
- 千葉縣 石田 榮
- 東京市 宇野 泰替
- 大阪市 谷利藤吉
- 鹿児島縣 上原尚秀
- 沖繩縣 玉城利徳